

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		運営推進会議を活かした取り組み・市町村との連携 家族が遠方だったり高齢の為に運営推進会議を企画しても参加が得られずに開催を断念している。その結果、家族の意見を取り入れた運営や、市町村との連携が希薄になっている。	参加者が少数であっても定期的に運営推進会議を開催し、利用者家族の意見を運営に反映させる。また運営推進委員に市担当者、地域の方々等に参加いただき、事業運営に協力関係を築く。	利用者の全家族に運営推進会議の目的を周知し参加を呼びかける。 諸事情により参加できない場合には、事前に協議事項、事後には議事録を明示して、推進会議の内容を把握頂き、意見を求めて行く。	6ヶ月
2		苦情相談 利用者・家族の意見の反映 苦情や相談及び意見、要望等の仕組みは利用開始に先立ち説明しているが、今までのところ苦情相談は無い。しかしながら本当に無いのか、有っても仕組みが分からない、言い辛い等、現体制に問題はないか検討する。	苦情相談のみならず、どんな事でも意見・要望を頂けるような体制作りを目指す。	毎月のお便りを利用し再度苦情相談、意見要望の仕組みを周知する。 言い辛い、言い難く直接又は文書では伝え難い場合を想定し、定期的にアンケート方式で意見・要望を募る。	6ヶ月
3		法令遵守（コンプライアンス） 現在、コンプライアンスルールに則り認知症対応型共同生活介護を提供しているが、より日常的に確認して取り組む。	何時如何なる時をもってコンプライアンスルールに則り認知症対応型共同生活介護を提供する。	現在もコンプライアンスルールに則り認知症対応型共同生活介護を提供しているが、今後もより日常的に意識し、確認して取り組む為に定期的な勉強会、研修会を実施していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。